



食料生産世界一に挑戦

日系人が導いた「農業大国ブラジル」

2022 **10/22** 土 ~ **12/25** 日

海外移住と文化の交流センター
1階特別展示場

入場無料

開場：午前10時～午後5時（入場は午後4時30分まで） 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

日本移民の最大の功績は、ブラジル農業を世界レベルに発展させたこと

日本からブラジルへの初めての移民船「笠戸丸」が神戸港を出航したのは、今から114年前の1908（明治41）年のことです。その多くはコーヒー農場の契約労働者となり、後に独立を果たし、ブラジルを農業大国に押し上げる活躍を見せます。

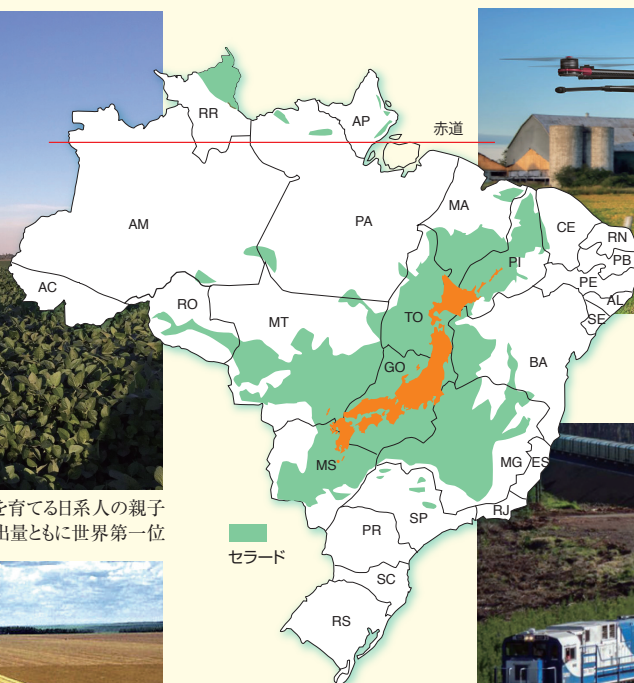
この企画展では、ブラジルがいかにして農産物の輸出大国として注目されるまでになったのかを、農業移民としてブラジルに渡った日本人とその子孫の足跡をたどりつつ紹介します。合わせて、ロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている世界の食料事情や、ブラジルの農産物の現状を見ていきます。



広大な農地で大豆を育てる日系人の親子
ブラジルの大豆は生産量、輸出量ともに世界第一位



大豆収穫機のすぐ後ろを種まき機が走り、一年中絶え間なく生産
日系の農機具メーカーが農業の機械化に貢献



日本の国土の5.5倍の「セラード」を
不毛地帯から豊かな農地に変えた
のも、日本政府と日本移民の成果



ドローンなどを活用するスマート農法にも日系農家は
積極的に取り組んでいる



日本の商社がブラジル国内の輸送インフラを改善し、
国際競争力を高めている



日系農家が品種改良に成功したトマト「サンタクルス」は
市場を席巻

主催：一般財団法人 日伯協会、神戸市

NIPPAKU Since 1926

新型コロナウイルス感染予防策として、来館時の検温・消毒・マスク着用にご協力をお願いします。

一般財団法人 日伯協会 Associação Nipo-Brasileira

〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8 海外移住と文化の交流センター2階

電話・ファックス 078-230-2891 E-mail info@nippaku-k.or.jp

URL <http://www.nippaku-k.or.jp>



- JR・阪神電車「元町」東口より鯉川筋を北へ徒歩15分
神戸市営地下鉄「県庁前」より、徒歩10分
- 神戸市営バス：「三宮駅前」または、「元町駅前」から
⑦系統に乗車「山本通3丁目」下車、北西へ徒歩3分
または「山本通4丁目」下車、東へ徒歩3分
- * お車の方は、当センター北側の有料駐車場をご利用ください。